

# 沖縄語の文語文の表記訳（7）

伝統的表記の例

詠み人知らず

夜走らす船や

子の方星目当て

わぬ生ちえる親や

わぬど目当て

沖縄文字を用いた現代的表記

ゆるは  
夜走らす船ふにや

に  
子ふぬ方星目み当てあ

わんなちえる親うぢや

わんみど目あ当てい

・・・・・・・・・・・・・・・・

読み音は上段下段同じです。

上段は音が八八八六ですが、文字は必ずしも八八八六になっていません。言文不一致です。

本稿は、伝統的な書き方を否定して現代的な書き方に改めようとするものではありません。伝統的な書き方を尊重の上、現代的な書き方を並記したものです。

この琉歌は童謡「ひんさくぬ花」の歌詞として、よく歌われます。

・・・・・・・・・・・・・・・・

下段では仮名の通りに読みます。

下段は音、文字とも八八八六となっています。（小書き文字を除く）言文一致です。下段の文字遣いに著作権はありません。

左の沖縄文字の読み音の表し方は、沖縄語辞典（国立国語研究所編）によります。

ど = du

て = ti

ふ = hwa

（参考）他の文字遣いの例

生ちえる＝産ちえる＝なちえる